



2014-15 年度 R I のテーマ「ロータリーに輝きを」  
R I 会長 ゲイリー・C. K. ホアン (Light Up Rotary)

## 八戸南ロータリークラブ会報



●ガバナー 工藤 武重 ●会長 榎 清蔵 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 米内 安芸

ホームページ : <http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/>

Email : [hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp](mailto:hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp)

RI 第 2830 地区ホームページ : <http://www.rotary-aomori.org/2014/>

### 第 1899 回例会記録《青少年奉仕委員会担当例会》

2014 年 9 月 18 日 (木) 点鐘 12:30

レポート No. 1332



### 第 1899 回例会要旨

- ・会長要件
- ・幹事報告
- ・各委員会報告  
《出席・親睦》
- ・青少年奉仕委員会



熊谷 S A A

### 《ゲスト》

八高 IAC 顧問教諭

榎本純子先生、山口明子先生

八高 IAC

佐藤瑞香さん、品田珠江さん、若竹詩織さん、  
田中裕さん、工藤瑞季さん、佐々木悠里さん、  
府金佑佳さん

### 《ビジター》

八戸東 RC 山崎 悟朗 様

佐藤 晃 様

### 《会長要件》榎会長



今日は八高インターアクトの生徒の皆さん、そして先生方をお迎えし活動報告をしてもらいます。今年のインターアクトの年次大会はつがる市の地球村で 7 月 26 日、27 日に開催され、私と伊藤幹事、小笠原青少年委員長の三名で参加して参りました。26 日はものすごく暑く 27 日は雨に降られ風に吹かれと屋外での大会でしたのでその思いが強く残っていますが、生徒の皆さんは色々な活動をされ、よそのインターアクトの皆さんと交流され非常に良い経験が出来たことと思います。

ことは創立 40 周年という事で実行委員会のメンバーも発表し承認をいただいておりますが、第一回目の委員会を準備委員会として 16 日に開催しました。各委員長さん方 9 名に集まっておいただき、今後の方針を決め、毎月一回実行委員会を開き進めていくことにしました。また、委員会ごとの集まりはそれぞれのメンバーと打合せをしながら 4 月 19 日に向け、年内には大筋を決めていきたいと思っております。

姉妹クラブの南浦項訪問は 11 月 3 日に出発し 11



### 《出席報告》桜田委員長

正会員数 43 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 25 名。出席率 61%です。前々会の例会は、メーキャップ 1 名、出席率 64%でした。

月 5 日の記念例会に出席し 6 日に帰って参ります。現在 5 名の参加希望者がおりますがまだまだ大丈夫ですので、参加を希望される方は久保田国際奉仕委員長か私まで申し込んでいただければと思います。

### 《幹事報告》伊藤幹事



八戸 RC より来週の例会が任意休会になったとのお知らせが届きました。当日は天皇陛下がいらっしゃいますのでホテル周辺は規制がかかりメーキャップは難しいとの事です。ハイライト米山と中央 RC より会報が届いています。

### 《ニコニコボックス》平光委員長

榎会長：八高インターアクトの皆さんようこそお出で下さいました。

伊藤幹事：八高インターアクトの皆さんようこそ。

黒田会員：八高インターアクトの皆さん、こんにちは！

鈴木会員：インターアクトの皆様ようこそ

平光会員：八高 IAC の皆様よろしくお願ひします。



### 《青少年奉仕委員会》鈴木副委員長



私はインターアクトの年次大会にも何度か参加させて頂いたこともありますが、いつも思う事は自分がそういう年代の時に、年次大会とかに参加したらどういふふう感じただろうと、そう考えると中々面白いと思っております。今の自分で考えると、上から目線で見たりして良くないのですが、その当時の年齢になったつもりで見ると、お話を聞いてもなるほどなどと思ふ事が沢山あると思ふます。皆さんもそのつもりでお話を聞いてください。

## 《クリスマス家族会》2年 佐藤瑞香さん



これから、八戸高校インターアクトクラブの活動報告をいたします。

私は、昨年度の12月19日に開催された、クリスマス家族会に出席しました。本校からは、私の他に7名が出席し、おいしいお食事をいただきながら、1年間の活動を振り返りました。

途中、私たちが出し物をする場面があり、8名全員で We wish a merry christmas ときよしのズンドコ節を披露しました。このように、とても楽しい時間を過ごすことができました。

また、普段お会いできないロータリアンのみなさんや、そのご家族の方々にもお会いできる、良い機会となりました。

八高のインターアクトクラブのOBの方からは、以前は男子が多かったことや、海外に研修へ行かれたお話を聞くことができました。

クリスマス家族会では、出し物やプレゼント交換など、とても楽しませていただきました。それと同時に、これからもインターアクトの活動に積極的に参加し、地域に貢献する精神を後輩へ引き継いでいこうと思いました。

## 《ラジオチャリティーミュージックソン募金活動》

### 2年 若竹詩織さん



私たちは、昨年12月24日、25日にラピアで行われたラジオチャリティーミュージックソン募金活動に参加しました。募金活動期間中がクリスマスということもあり、たくさんの方々に募金をしていただきました。八高以外の高校からも募金に参加していたので、交流を持つことができました。

この募金で得たお金は目の見えない人のための音の出る信号機の購入に使われるそうです。

私たちもこういった社会貢献活動を担うことができ、将来も他の社会貢献の活動をしたいと思いました。

## 《蕪島海岸清掃活動》1年 府金佑佳さん

私たちは5月3日に蕪島海岸の清掃活動に参加しました。本校からは7名が参加しました。

私にとって、このような清掃活動は初めてでした。新鮮な体験をさせていただくことができ、大変うれしく思っています。

今回の清掃活動で、私はたくさんのことを学びました。まず、仲間と協力することの楽しさです。各々の責任をしっかりと自覚し、協力し合ったことで、楽しみながら活動することができました。やり遂げた時の達成感は素晴らしいものでした。

また、私たちが自然を守り抜くということは未来永劫の使命であるということです。最初は蕪島の環境の実態に衝撃を受けました。震災の影響もあってか、海辺には木の枝や布団、ライターなどさまざまなゴミが散乱していました。種類ごとに分別し、ゴ



ミ袋に入れて、片づけました。一生懸命、一人ひとりが自分の役割を果たそうとゴミを拾い続けました。

清掃後の景色は見違えるほど美しくきれいになりました。そこにいた誰もが感動したはずですが、少なくとも私は感動し、多大な達成感を得ることができました。

そのとき私は感じました。この状態を維持しなければならない、誰かが動かなければそれは実現できないと。つまり、私たち一人一人が自然を守っていかなければならないということです。実際に清掃活動を行ってみて、改めて実感できました。この清掃後、私の自然環境に対する関心は深まりました。

このような機会があったら、またぜひ参加したいと思っています。加えて、このような清掃活動に参加し、自然に強い関心を持ち、きれいな環境を維持しようと立ち上がる人が増えていくことを願っています。

## 《盲導犬育成募金活動》2年 工藤瑞季さん



5月25日さくら野前にて、盲導犬育成募金活動に参加しました。本校からは、8名が参加しました。

この日は町中の車道が歩行者に開放され、さまざまなイベントが行われていたので、たくさんの方から募金していただくことができました。

特に小学生以下の子どもたちは、私たちの隣で座っていた盲導犬と触れ合い、募金の大切さを感じて協力してくれてとてもうれしかったです。

また、イベント中ということで、人通りが多かったこと、イベントを主催している方々からの協力もいただくことができたのもよかったと思います。

募金に協力してくれた子どもたちには、盲導犬が描かれたシールを配っていましたが、こちらもとてもよろこんでもらえました。

募金活動をとおして、イベントを行っているスタッフのみなさん、それを見に来た地域の方々や子どもたちと広く交流することで貴重な経験となりました。

これからのボランティア活動にも積極的に参加し、人の輪を広げていきたいと思っています。

## 《インターアクト年次大会》2年 佐々木悠里さん

7月26日・27日に、つがる地球村で行われた、インターアクト年次大会に私は初めて参加しました。国際ロータリー第2830地区のインターアクトクラブとロータリーのみなさんが集まるということで、始めは少し緊張していましたが、八戸南ロータリークラブの皆さまをはじめ、全ロータリアンが歓迎してくださったので、のびのびと楽しむことができました。

始めに行われた講演会では、普段食べているものへの危険性を学ぶことができ、安全な食事の大切さがわかりました。

バナナボート作りでは、今まで作ったことがありませんでしたが、とても長いバナナボートが完成し、おいしく食べることができました。さらに、他校の



インターアクト生との交流もできました。そこでは、他校の近況を聞くことができ、わが校でも彼らの活動を取り入れたらよいと思う活動もありました。

夕食時には、ロータリアンの方が釣ってくださったマグロを生でさばくところを見ることができるという、とても貴重な経験ができ、かつ美味しくいただくことができました。

翌日のパターゴルフでは、惜しくも八高生は入賞できませんでしたが、それぞれのチームで初めてにしては頑張ったと思います。

最後の各校のインターアクトクラブの活動報告で、私は八戸高校の代表として発表したのですが、すべてのインターアクト生が真剣な態度で聞いていたのが、とても印象的でした。他校の活動には、見習う点も多く、八戸高校もまだまだ活動の幅を広げられると思いました。また、自分たちの活動を見直すことができる、良い機会となりました。

ロータリーの方々と交流する機会の一つ一つを大切に、これからも続けていきたいと思っています。

## 《24 時間テレビ「愛は地球を救う」募金活動》

### 2 年 品田珠江さん



8月31日、私を含め5人のインターアクト部員が、八食センター内で24時間テレビの募金活動をしてきました。昨年より多い人数だったので、その分大きな声も出せ、積極的に募金を呼びかけることができました。

最初は、募金してくれる人がいるかどうか不安に思っていました。すぐにその不安はなくなりました。様々な年代の方が協力してくださったのです。特に小さい子どもたちはお母さんに頼んでお金をもらって募金してくれたことが印象に残っています。また、子どもたちにありがとうと言うと、恥ずかしそうに笑ってくれてうれしかったです。募金してくれる人の中には、ペットボトルの空やお菓子のケース、ビニール袋や貯金箱にたくさんの小銭を貯めて持ってきてくれる人もいました。お話を聞くと、毎年持ってきてくださっていて、今回の募金も1年かけて貯めたそうです。高校が同じ友達も募金しに来てくれたことが一番うれしかったです。

私は今回の募金活動で一番驚いたことは、募金活動をしてくれる人が多かったことです。中には「頑張ってるね」などの優しい言葉をかけてくれる人もいて、とてもうれしかったです。今回の活動を通して、私は改めて人の心の優しさを感じました。金額の大きい小さいに関わらず、募金をしてくれる人の心があつたかいと感じ、これからもそういう心を大切にしていきたいと思いました。これからもこのような活動を続けていきたいと思っています。

## 《広島大規模土砂災害募金活動》2 年 田中 裕さん

9月1日・2日・3日の3日間にわたって、広島大規模土砂災害への募金活動を行いました。

多くの生徒や先生方が募金に協力してくださり、3万5千4百17円も集めることができました。意外にも多くの人たちが募金に協力してくださったので、うれしかったです。



この募金活動で集まったお金が、少しでも広島の人たちの支えとなればいいと思います。

またこの活動をとおして、多くの人たちと触れ合うことができました。学校内の生徒や先生方とコミュニケーションをはかるよい機会となりました。

この募金活動は、自分たちが発案し、先生方の協力を得て活動することができたので、これからも、自分たちから積極的に人のために動きたいと思いません。

この活動をとおして、助け合いは素晴らしいことだと思いました。お金を入れてくれる多くの人が、「頑張ってる」や「お疲れ様」と声をかけてくれて、人のために行動することは、自分もうれしくなることであると改めて知りました。

また再び災害が起こった時は、募金活動をしていこうと思います。

この活動は広島の人たちはもちろん、私たちにとっても価値がある活動でした。

これで、八戸高校インターアクトクラブの活動報告を終わります。

## 《鈴木副委員長》

以前より色々な活動がバラエティーに富んできたような感じがしました。これからも頑張ってください。

## 《榊会長》

色々な奉仕活動をされて、そしてまた新鮮な気持ちで感動している事、このように様々な活動をしているという報告は今まであまり聞いたことがなかったのでびっくりしました。そしてまた、皆さんがきちんとした挨拶、きちんとした考え方が良くできていてさすがに素晴らしいと感じました。私たちの活動の方が皆さんより少ないかもしれませんが、私たちもこれから頑張っていきたいと思っています。

今年の例会の中でゲストをお迎えして奉仕について学んでいこうと言う事で、前は八戸市社会福祉協議会の方に震災のときの奉仕、ボランティア活動のお話を頂きました。次は野田村の方で震災に遭った事業所の方からその時の大変な思い、中国からの実習生が来ていて大変だったことなどを話して頂きます。12月には少年相撲を指導している方から、子供たちから学んだこと、色々な施設を慰問している事などをお話して頂きます。

私たちは地域の為、世界の為に奉仕を実践していく団体です。今日はそのような団体である私たちが、生徒の皆さんから大きな感動を頂きました。

本当にありがとうございました。